

1, 800 人のために知ってほしい

1 3 6 7

埼玉県内の児童養護施設などで生活して

いる子どもが 人

4 3 3

埼玉県内で里親さんと生活している子どもが 人

1 8 0 0

埼玉県内で何らかの理由で自分の家庭で生活できない子どもが 人います。

里親制度は「子どものため」の制度です

埼玉県には **約 1800 人** の子ども達が、何らかの理由で家族と離れて生活をしています。そのほとんどの子ども達は施設で暮らしています。

施設では、専門の職員がチームを組んで一生懸命愛情をこめて子育てを頑張っています。しかし、家庭の様にはいきません。

子どもの成長には「家庭のぬくもり」が必要です。

ぜひ、「私にもできることがあるかもしれない」と思った方はご相談ください。

「里親として生きてみませんか？」

もっと詳しく



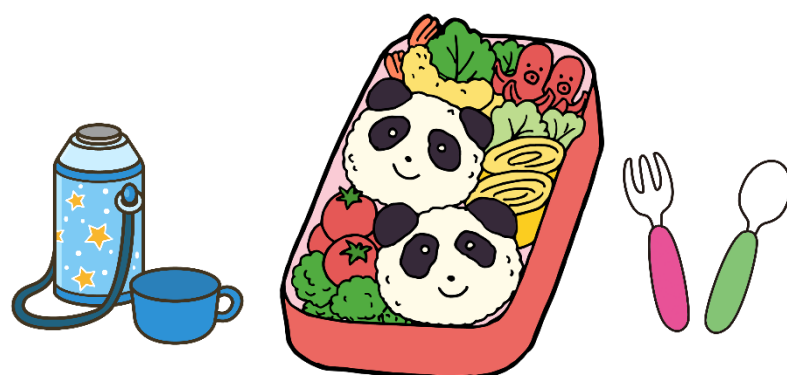
子どものことが大好きなんです …とある里親さんの言葉

里親は子どものことが大好きな人の集まりですね。

家族と一緒に暮らせないのなら家においでって声を掛けて今一緒に暮らしています。

今思い出すと良いことも、大変なこともたくさんありましたよ。

でも、それが全部いい思い出ですよ。(笑)



里親という人生



子どもが好きで里親になる人。

子どもを育ててみたいと思い里親になる人。

それぞれの思いや考えから里親という人生を歩む方がいます。

家族と一緒に暮らせない子どもを「家においで」と優しく迎え、精一杯の愛情で育てる生き方です。



かわいがっていたから 「さよなら」はさびしい



預かり育てるのが里親の役目です。

だからある時、別かれの日が来ます。その日は児童相談所と話し合って決まります。



短い子は数日で家族のもとに帰ります。



長い子は数ヶ月～数年。18歳を迎え、里親の所から巣立っていく子もいます。

一人じゃないから頑張れる



里親の子育ては「途中からの子育て」です。分からないことが沢山あって抱え込んでしまうとつらくなってしまいます。そんな時は支えてくれる仲間になんでも話を聞いてもらいましょう。



埼玉県の里親会、先輩里親、児童相談所の方、乳児院・児童養護施設の相談員など。

沢山の人が里親さんの味方です。みんなで子育てする「チーム養育」という考え方です。



子どもが遠慮してしまう



里親の負担になっていると思い、好きなことを我慢する子がいます。そんな時は「大丈夫だよ」と言ってあげてください。

その子のために、ちゃんと養育の費用は支給されます。

部活だって塾だって、頑張りたい子には思いっきりさせてあげてください。

※里親手当、生活費、医療費、教育費などが支給されます。

この子を我が子として育てたい



養育里親として育てているこの子と縁組をして我が子として育てたい。その気持ちを児童相談所の方に相談しました。

＜里親に種類がある＞

養育里親：預かり育てる里親。

専門里親：手厚くお世話することが必要な子を預かり育てる里親。

養子縁組里親：我が子として育てることを希望する里親。

※縁組する場合は、生みの親からの承認が必要で、家庭裁判所による判断を得る必要があります。

その他、家庭体験の場を提供する週末里親（ボランティア里親）があります。（学校がお休みの時にお願いします）





～通称～

里親さんは“通称”を使うことができます。学校には好奇心旺盛な子ども達がいるので、里子と里親の名前が違っているとすぐに「何で？」と聞いてきます。説明するのも大変ですし、正しく理解さ

れないこともあります。だったら、最初から里親さんと同じ名前の方がいいと思う里親さんは少なくありません。



里親制度を支える

子どもを預かることはできなくても、里親・里子への理解が

あり、そっと見守ってくださることも大切な支援です。



もっと知りたい

「私にも何かできるかしら？」そう思ったら児童相談所にご相談ください。

※里親に関する入門講座がります。

※里親登録に進みたい方は、基礎研修・登録前研修を受けます。

熊谷児童相談所

☎048-521-4152

児童養護施設さんあい

☎048-585-0605



里親として一緒に
生きてみませんか？

どんなことでも受け止める覚悟

～ 真実告知 ～

真実告知とは**育ての親**が子どもに対して、**生んでくれた人がほか**にいること、**生んでくれた人にはいろいろな事情があって育てることができなかったこと**、**私達はあなたを育てることを心から望んで家族に迎えた**という真実を伝えることです。そして同時に「あなたは私たちにとって大事な存在」であることを伝え、子どもと一緒に受け止めていく「真実告知」の必要性は、児童の権利に関する条約第7条第1項でも【児童は「できる限りそ



きちゃんと定められています。**育ての親として子ども愛情を持ってどんなことで迎えたのであれば、子ども合わせた方法で「真実告知」を行い続け、その生い立ちを共に受け入れていく**必要があるということです。



【里親】 あなたの全部が私達の幸せ

生後七ヶ月で我が家へ来てくれたHは、よく食べ、いっぱい遊び、とてもパワフルな二歳の子供になりました。戸外遊びが大好きで公園へ行くと、風を感じ、雲を見て瞳を輝かせるH。そうかと思うとパワフルに満足するまで歩きまわる。ついて歩くと結構疲れます。喜怒哀楽が激しく、よく笑い、とても楽しそうに動きまわる。その姿は愛らしいです。駄々をこねることも多く、どこでもお構いなしに大泣きしてひっくり返ります。まだ言葉で



伝えられないから体全身で表現するのでしょう。その思いを受け止めるのも体力勝負と実感します。大変な事も多いけれど側でHの成長を感じ、天使のような笑顔を見られることは私達の幸せです。Hと縁を結んでくれた方々、そして愛情をもちHと接して下さった方々に感謝すると共に大切に育てていきたいと思う。

【里親】 そうだよ、お母さんが

ずーと

あなたのママだよ



2歳だったTを我が家に迎えて早5年が経ちます。まだ言葉も拙かったTの言葉を家族の中で唯一理解できたのは私だけでした。覚えてた言葉で「お母さんは僕のママ?」「ずっと僕のママ?」と1日に何十回と聞いてきました。その度に「そうだよ、お母さんがずーっとTのママだよ。」とギュッと抱きしめてきました。小学校に入学して真実告知をした時のTの第一声は、「育ててくれてありがとう。」との思いもかけない言葉に「ママのほうこそ生まれて来てくれて本当にありがとうだよ。」とギュッと抱きしめ、涙が止まりませんでした、このことは生涯忘れられません。Tの日々の成長を楽しみながら、これからの子育てを頑張っていこうと思う毎日です。

【里子】 父,母 私を選んでくれて本当にありがとう。

私が両親と生活をはじめたのは4歳でした。

小さい時からずっと可愛がってくれ、どんなことがあっても差別することなくいつも向き合ってくれていました。

母親と大喧嘩した時自分は、まあ本当の親じゃないし血繋がってないからしょうがないかって思ってしまったことは何回かありましたが、今となっては本当にこんなこと思ってしまった事自体がすごく申し訳なかったと後悔したぐらいです。

時々母親に私が今の両親のところに来るまでの過程を聞いたりしますが、私

の事本当に心から愛し必要とされてるんだなと感じます。たまに色々考えたりしますが、大人になった今でも本当に両親の事が大好きでたとえ結婚しても離れたくなくずっ

と一緒にいたいと思うくらいです。

父、母私を選んでくれて本当にありがとう。養子とか関係なく誰より1番に幸せを

